

## あとがき

2011年度表現論シンポジウムは国民宿舎紀州路みなべにて、11月7日(月)から11月10日(木)まで開催されました。

シンポジウム開催にあたっては下記科学研究費補助金から援助を受けました。

(講演集印刷製本費)

「群の表現およびルート系に付随した微分方程式の研究とその応用」

大島利雄(基盤研究(A) 課題番号 20244008)

(会場費、通信費および旅費)

「次数付ヘッケ代数と準遺伝被覆の研究」

有木進(基盤研究(B) 課題番号 23340006)

(旅費)

「多重旗多様体の軌道分解」

松木敏彦(基盤研究(C) 課題番号 22540016)

(旅費)

「旗多様体上の軌道とモーメント写像」

西山享(基盤研究(B) 課題番号 21340006)

(旅費)

「動く映像の特徴抽出空間の構成」

落合啓之(挑戦的萌芽研究 課題番号 23654054)

その他世話人側で把握していない研究費からの援助も数多くあったことと思います。

本年度は表現論ホームページの開設、管理を世話人のひとりである菊地が行い、大阪大学の学生諸君がシンポジウム当日の受付業務に従事してくれました。

また、講演を申し込んで下さった皆様、および概説講演を引き受けていただいた2組の皆様の助けをもちまして充実した講演プログラムを作成できました。

以上の方々のご協力に世話人一同厚く御礼申し上げます。

2011年度表現論シンポジウム世話人

有木 進 (大阪大学)

菊地 克彦 (京都大学)